

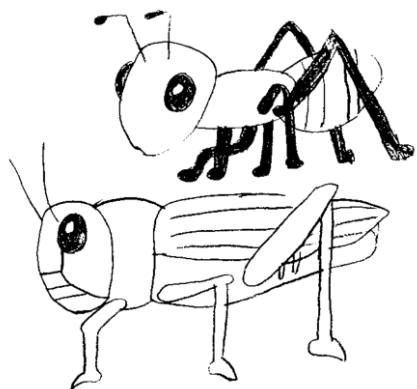
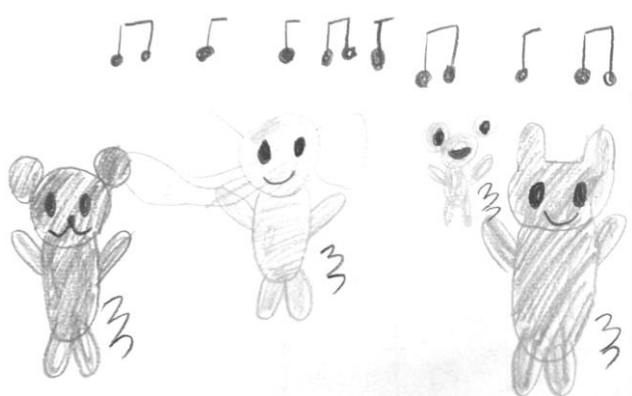
令和六年度

湖南省の小さな詩人たち

子どもたちが創った

詩・俳句・川柳・短歌

入賞作品集

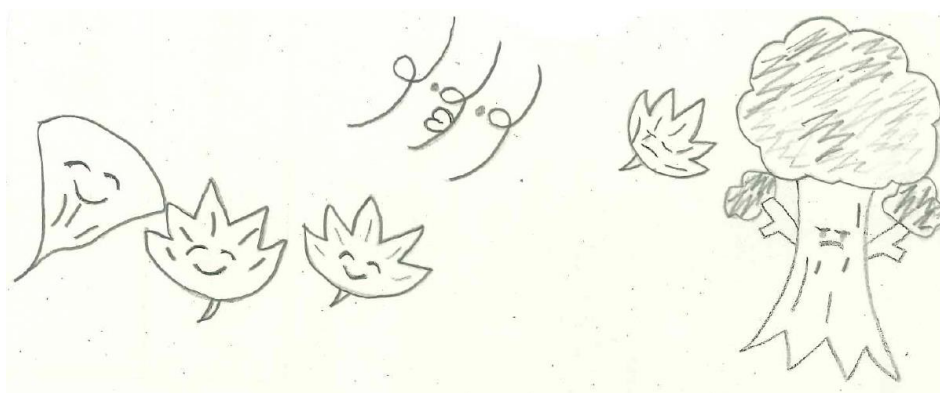


主催

協賛

湖南省教育委員会

水口ライオンズクラブ



もくじ

○ 詩部門

・ 小学校一年生～三年生の部 1

・ 小学校四年生～六年生の部 4

・ 中学生の部 7

○ 定型詩部門

・ 小学校一年生～三年生の部 10

・ 小学校四年生～六年生の部 12

・ 中学生の部 15

【表紙絵】上から 菩提寺北小学校 一年

岩根小学校 五年

菩提寺北小学校 五年

原田 はらだ 笑舞 えま 詩「どうぶつのだんす」より

山川 やまかわ 諒道 りょうどう 詩「オレらは昆虫」より

白谷 うすや 望那 もな 詩「葉っぱの出会い」より

おいしい魚

三雲小学校 二年

時岡 颯太

そうたは魚が
だいすき
さけ
まぐろ
かれい
たい
たべるまえから
もうしあわせ

魚のあじは
ちよつとにてる
たえばおなからへん
ちよつとしよっぱくて
やわらかい
ほねがあつたら
すいかのたねみたいに
ぺって出す



魚のなかでも
おばあちゃんちの
ちかくの海の魚が
いちばんすき
たべるとにっこり
しあわせのかお

【評】

そうた君は魚が大好きです。「さけ・まぐろ・たい」魚の姿を見るだけで「食べるまえから幸せ」だと言っています。それもおばあちゃんが住んでおられる近くの海でとれた魚がいちばん好きとのこと。きっと優しいおばあちゃんがい好きなのでしよう。大好きな魚をとおして、おばあちゃんへの愛がしっかりとえがけています。

【優秀賞】小学校一年生～三年生の部

ぼくはえんぴつ

石部南小学校 三年

真鍋 まなべ

兼護 けんご

ぼくはえんぴつ
けずられるのはきらいだ
ぼくはえんぴつ
おれるのがきらいだ
ぼくはえんぴつ
小さくなるのはきらいだ
ぼくはえんぴつ
二つに分けるのがきらいだ
ぼくはえんぴつ
落とされるのはきらいだ
でも・・・
使われるのは
大すきだ



【優秀賞】小学校一年生～三年生の部

地球

菩提寺北小学校 三年

濱口 はまぐち

悠真 ゆうま

ぼくたちの地球
みんがの地球
青い空の下
みんなが立っている

ぼくたちが
ここにいます
ほのぼのとした
この地球は

せんとほし
やめよと
ばしめよと
やめよと
みんがの地球

この地球は

いろいろなこと
いっぱいある
この地球が大すきです



【佳作】小学校一年生～三年生の部

かげ

石部小学校

三年

小堀 こほり

愛咲 あいさ

かげはずっと

わたしをおいかける

にげてもにげても

ついてくる

かげに入ったら

わたしのかげはきえた

かげがないと

ちよっとさみしくなっちゃった

かげさんまた

わたしとあそんでね



【自由詩部門】

(野呂 昶 選)

【最優秀賞】 小学校四年生～六年生の部

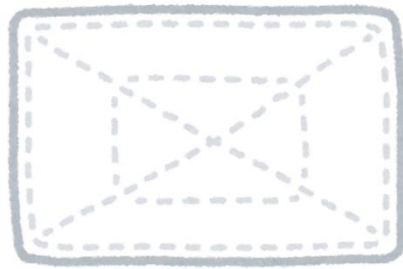
ぞうきん

三雲東小学校 六年

後藤

伸太郎

ぼくはぞうきん
つかれる
きたなくなる
けどいいんだ
なぜかって
ぼくがきたなくなるほど
まわりがきれいになるから



【評】

「ぼくは ぞうきん」 ぞうきんの立場
にたって書いた作品です。ぞうきんが心
をこめて働く、「つかれる きたなくな
る」働けば働くほど、きたなくなります
ね。しかし、ぞうきんがきたなくなればな
るほど、まわりがきれいになります。わた
し達人間も、一所懸命に働いて、世の中を
美しくしたい、後藤君は言外にそう言っ
ています。

【優秀賞】小学校四年生く六年生の部

秋の虹

菩提寺小学校 四年 大野^{おおの} 結菜^{ゆいな}

秋の虹って？

どんなものだろう

真っ赤な紅葉

黄金色にそまったオレンジ色の稲

かすかに光る黄色のイチヨウ

緑色でまんまるな実の銀杏

きれいな青色の朝顔

あい色は月が輝く夜空

むらさきは花びらが美しいキキョウの花

全部で七色

秋の虹って？

色とりどりの秋のこと



【優秀賞】小学校四年生く六年生の部

おちば

菩提寺小学校 四年 野村^{のむら} 伊織^{いおり}

わたしはおちば

ひらひらとまいおりる

それが風にゆれるドレスのように

きれいにおちる

そして木々たちのえいようとなり

あたらしい人生をむかえるのだ



【佳作】小学校四年生～六年生の部

おちば

三雲小学校

四年

宮田 みやた

晴名 はな

風にのりみんながひらひらおちていく

風にのりぼくもいっしょにおちていく

木からすこしずつゆらりゆらりと

おちていく

だれかにふまれてかれはになる

風にのりみんながひらひらおちていく

風にのりぼくもいっしょにおちていく

ひらひら

ひらひら



【最優秀賞】中学校の部

本

石部中学校

三年

柏原かしわばら

珀来はく

本には心がある

様々な感情がある

絶望や悲しみに満ちた本

不満や怒りに満ちるはずだった本

恍惚や喜びに満ちなかつた本

信頼や敬愛に満ちている本

関心や期待に満ちる本



本には色がある

本には色彩がある

輝く本は山吹色へ

見惚れる本は薔薇色に

安らぐ本は若葉色だ

冷酷な本は瑠璃色へ

情熱に燃える本は紅色に

本は色を 色は心を

淡く 人と本は

永遠につながっていく

【評】

「本ほんには心こころがある さまざまな感情かんじょうがある」すぐれた本ほんには、人間にんげんの真まの生き方かたをえがき、私達わたしたちに感動かんどうを与えてくれます。

「本ほんには色彩しきさいがある」絶望ぜつぼうや悲しみかなしみ、喜びよろこや希望きぼうなど人間にんげんの感性かんせいがしつかりえがかれています。それを作者さくしやは、山吹色やまぶきいろやばらいろ、べにいろ、しきさい、ひょうげん色、紅色にいろなど色彩しきさいで表現ひょうげんしています。それが大変たいへんユニークで、作品さくひんに輝かがやきをもたらしています。すぐれたいい作品さくひんが生まれました。

自分らしさ

石部中学校 三年

川崎 かわさき

王愛 のあ

自分を表現している時間が好き

絵で表している時が好き

自分にしか出せない色

自分にしか出せない絵

大好きな空間で描く絵

自分にしかない個性が好き



グラウンドの声

石部中学校 二年

野村 のむら

英斗 えいと

グラウンドの真ん中

いろんな声がきこえてくる

夏のあたたかい風の声

騒がしく鳴く蝉の声

蝉よりも

もっと楽しそうに騒ぐ声

明日は

どんな声が

聞こえてくるだろう



天気

日枝中学校

一年

濱村 はまむら

心花 こはる

天気を見ると

不思議と気分がかわってくる

太陽が顔をだしている時

気分も晴れる

逆に雨が降っている時

自分の心も雨もよう

天気はまるで自分の心



【定型詩部門】

(平賀 胤壽 選)

【最優秀賞】小学校一年生～三年生の部

菩提寺北小学校

三年

林

純愛

ねがいごと

ビューンととんだ

ながれぼし



【評】

流れ星に願いごとを…ビューンとはきつと手
 ごとえがあつたのでしよう。でも少しの不安も
 よぎります。いつときの逡巡が窺えます。

【優秀賞】小学校一年生～三年生の部

下田小学校

三年

澁谷

月咲

もみじさん

あたまにぼろり

こんにちは



岩根小学校

三年

川端

怜那

かまきりが

にんげんを見て

ダンスする



【佳作】 小学校一年生～三年生の部

あさがおさん	おいしいおみず	めしあがれ	石部小学校	一年	上垣 <small>うえがき</small>	舞佳 <small>まいか</small>
かまきりが	がぶがぶごっくん	むしたべた	石部南小学校	一年	本田 <small>ほんだ</small>	勝理 <small>しょうり</small>
がんばるぞ	たのしさいっぱい	つなをひく	三雲東小学校	一年	廣田 <small>ひろた</small>	拓真 <small>たくま</small>
ひつじさん	ふかふかぐもと	なかよしだ	三雲小学校	三年	立入 <small>たちいり</small>	蒼真 <small>そうま</small>
うれしいな	名前がおなじ	一年生	三雲小学校	二年	村田 <small>むらた</small>	寧音 <small>ねね</small>
もみじのは	スターのような	あかいろだ	菩提寺小学校	一年	中野 <small>なかの</small>	葉月 <small>はづき</small>
さかあがり	地球をドンと	くるりんぱ	菩提寺北小学校	三年	五十子 <small>いかり</small>	朔久 <small>さくく</small>
あきのあさ	はっぱひらひら	おでむかえ	下田小学校	一年	森 <small>もり</small>	海翔 <small>かいと</small>
もみじさん	きざきざしていて	かっこいい	水戸小学校	二年	西野 <small>にしのもり</small>	岳 <small>がく</small>

【定型詩部門】

(平賀 胤壽 選)

【最優秀賞】小学校四年生く六年生の部

菩提寺北小学校

五年

平井

莉穂

冬の朝 ベンチにすわる 雪だるま



【優秀賞】小学校四年生く六年生の部

石部南小学校

五年

真鍋

杏

夕焼けが

こちらを見るよ

にここにこと



三雲東小学校

六年

兜

恩理

【評】

雪の日の早朝…ふと外を見ると雪だるまが、ベンチに腰かけていたという幻想。誰かが雪をかぶるようになっていたのかも。読む人の想像が膨らみます。

・・・秋？

実感できない

境界線



【佳作】 小学校四年生～六年生の部

日がくれる やきいも色の 秋の空

石部小学校

五年

藤谷 蘭

楽しみは 湯気がモクモク くりごはん

石部小学校

六年

河津 芙玖

食よくの秋 まんきつするとき

ヒマワリと あつい太陽 見つめ合う

石部南小学校

五年

松下 大弥

寒い夜 ねこと二人で 外を見る

石部南小学校

四年

浅井 日奈乃

みかんを食べて ちよっとほっこり

ひがんばな まっかにそまる あきはなび

三雲東小学校

五年

森庵 紗彩

池見れば もみじゅっくり 泳いでる

三雲東小学校

六年

井上 千里

雪合戦 私の体は 雪だるま

三雲小学校

五年

福島 杏

本を読み 心落ちつき 夢ごこち

三雲小学校

五年

泉 心春

さつまいも ほくほくあちち ぽっかぽか

三雲小学校

四年

石田 いしだ こゆり

走るなか バトンでつなぐ この気持ち

岩根小学校

四年

園田 そのだ 眞彩 まいろ

秋の色 山が輝く 色打掛

菩提寺小学校

五年

布施 ふせ 航成 こうせい

風ゆらぎ 炎に以たり ひ岸花

菩提寺小学校

六年

杉森 すぎもり あん

葉っぱがまい 本を持つ手に 葉が落ちる

菩提寺北小学校

六年

満田 みつた 那星 なほ

さつまいも 半分わると 月みたい

菩提寺北小学校

四年

内倉 うちくら 聖奈 せな

どんぐりが おちばにゆっくり つつまれる

下田小学校

四年

川北 かわきた 依子 よりこ

秋がきた なのにいっしゅん すぎさった

下田小学校

五年

橋村 はしむら 拓海 たくみ

もみじの葉 風といっしょに 出かけたよ

下田小学校

四年

風間 かざま 美桜 みお

たどり着くのは 君の前だよ

もみじがり きれいな赤が 花のよう

水戸小学校

四年

西田 にしだ ヤマト

【定型詩部門】

(平賀胤壽選)

【最優秀賞】 中学校の部

甲西北中学校

二年

来見田香乃巴

森のおく 風がとことこ あるいてる



【評】

森の奥とは現代人とおおよそ未知の世界…風は吹いているのではなく、闊歩しているようなスリリングで怪しい気配。このイメージは「トトロの森」が下敷きにあるのかな。

【優秀賞】 中学校の部

甲西中学校

二年

植田萌心

一粒の 涙がポロリ あのと試合

来年目指す 涙の上書き

日枝中学校

二年

高田悠貴



ひきがたり チョークの独奏 一時間

静かに広がる ちしきの音色



【佳作】中学校の部

コスモスは ゆらゆらゆれて そらをみる

石部中学校

一年

本城谷 ヲウナ

薫風や カーテンなびかせ ひかりふる

石部中学校

三年

植村 果歩

甘酸っぱい 梨は贅沢 笑み浮かぶ

石部中学校

三年

鈴木 萌愛

目を開けぬ 祖母はいずこへ 行き先も

甲西中学校

二年

笹木 裕人

分からぬままで 四十九日に

響く音 届け面へと ふる竹刀

甲西中学校

二年

吉永 葵

汗にまみれて 願うは一つ

慎重に 書きだすノートも いつの日か

甲西中学校

二年

林 愛華

ぐちゃぐちゃになる 最後のページ

そよ風を 浴びつつ進む 坂道に

甲西北中学校

二年

高田 碧人

どこからともなく 響く蝉の音

南風 こいで進んで 自転車よ

日枝中学校

三年

門多 寧々

湖南省の小さな詩人たち 令和六年度 入賞作品集

く子どもたちが創った詩・俳句・川柳・短歌く

発行日 令和七年二月三日
編集発行 湖南省教育委員会